

## 政治権力と政治体制

権力構造のあり方

### メニュー

- 権力構造の見方
  - － 一元的支配と多元主義(『政治学』23章3)
- 一元的支配論・陰謀論の問題点
  - － 反証可能性(『原因を推論する』2章)
- 多元主義をもたらすメカニズム
  - － マスメディアの役割(『政治学』21章2・『はじめて出会う政治学』6章・谷口将紀『政治とマスメディア』東大出版会))

### わせポチ

- この世界を支配する少数の有力者がいると思いますか。
  - － 1 いると思う
  - － 2 どちらかというと思う
  - － 3 どちらかというといないと思う
  - － 4 いないと思う

### 陰謀史観

- 身のまわりに不思議な出来事が起きる。もしかしたら、それは偶然ではなくて、何かの陰謀、〈彼ら〉の企みではないだろうか。このような考えを〈陰謀史観〉(コンスピラシー・セオリー)という。この、見えない〈彼ら〉は、神であるかもしれず、悪魔であるかもしれない。〈彼ら〉として、ユダヤ人、フリーメーソン、ナチ、共産主義者、さらには宇宙人までもが名指しされてきた。(海野弘『陰謀の世界史』8頁)

### 誰が支配するのか？

- 権力構造
  - 支配するエリートとエリート主義
  - 一元的支配
  - 評判法
- コミュニティー権力構造論争
- ロバート・ダールによる批判
  - 争点ごとに異なる影響力構造
  - 多元主義

### 影響力を実証する

- ロバート・ダールの定義「さもなければBがなさなかったことをBになさしめる度合いに応じてAはBに権力を持つ」
- 行動を通して観察可能
- 影響力資源と影響力の違い
- 影響力は関係的である
- 明示的影響力

### 黙示的影響力

- 経済界の特権的地位？
  - 金の卵を産むガチョウ
  - 構造的影響力
- 目に見えない力？ 黙示的影響力
- 非決定の問題
- 個人の認識枠組み自体への影響
  - 政治学 5章3節

### 方法論的問題

- 黙示的影響力を捉える方法は？
- 観察可能な含意
  - もしAの支配が貫徹していれば観察できるはずの現象を確認
- これが無ければ無限後退問題へ
- 何でも説明できる理論
  - フロイトの精神分析「イド」「超自我」「自我」
- 反証可能性と科学

### 鉄の三角同盟と権力構造

- 鉄の三角同盟論と権力構造の見方
  - 政官業は政財官ではない
  - 政官業は多元的、エリート主義的見方ではない
  - しかし非流動的＝少数の優位
- では、変化をどう説明するか
- 政治的企業家のちよつと異なる損得勘定
- マスメディアの役割

### マスメディアの影響力

- 影響力認知：第4権力論
- マスメディアの登場と強力効果論
- 限定効果論
  - エリー調査(1940年 アメリカ)
  - コミュニケーションの2段階の流れ仮説
  - メディアの「改変」効果小さい

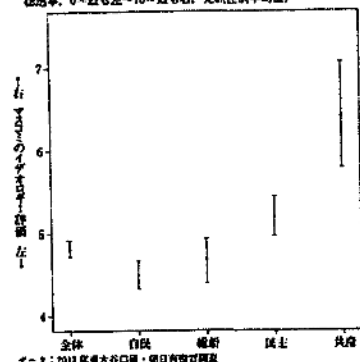
### マスメディアの影響力 再考

- テレビの登場と強力効果論の復活
- 議題設定
- プライミング 政治の判断基準提供
- フレーミング

### 日本におけるメディアのバイアス

- テレビ・ラジオと放送法「政治的公平性」
- 新聞における「客観報道」
- バイアスは存在するか
- 有権者の受け止め方
- バイアスの効果

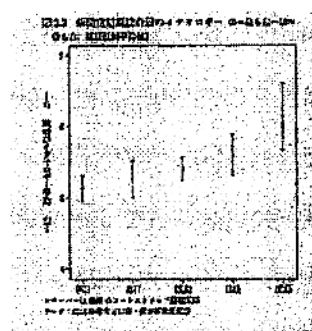
図 2.5 有権者によるマスコミのイデオロギー評価 (2012 年  
選挙年, 0=最も左~10=最も右, 党別性別平均値)



データ: 2012 年選挙大谷口直・朝日新聞調査

谷口将紀『政治とマスメディア』73頁

## メディア効果の測定の困難さ



谷口将紀『政治とマスメディア』102頁

## マスメディアと多元的民主主義

- メディアの偏向?
- 政治的中立性とバランス論
- 多元的民主主義との親和性
- 弱者の声を増幅する傾向
- 視聴率競争と弱者代表

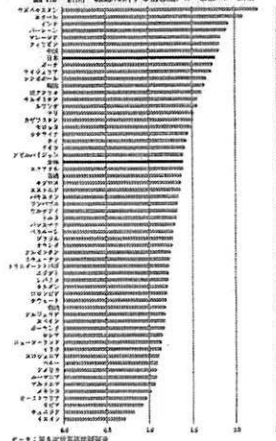
## マスメディアがもたらす政治の流動化

- 多元的民主主義とマスメディア
- 争点の拡大・参加者の拡大
- 一元的支配への対抗と報道の自由
- 少数の優位への対抗
- 参考『はじめて出会う政治学』6章

## インターネットの影響

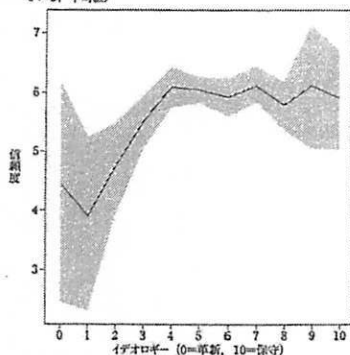
- メディアとしてのインターネット
- 旧来型メディアへの信頼性
- WEBサイト、ブログ、SNSの影響「反響室」
  - －さらなる多元化・流動化？
  - －選択的接触と政治関心の低下？
  - －選択的接触と分極化？

図 1.3 新聞・雑誌に対する信頼感 (0=最低～3=最高)



谷口43頁

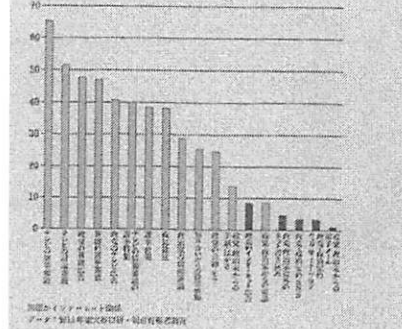
図 1.1 新聞に対する信頼感 (0=信頼していない～10=信頼している、平均値)



谷口41頁

信頼度部分は95%のブートストラップ信頼区間  
データ：市民意識に関する調査(分析は著者)

図 3.4 2015 年選挙時に接触したメディア (単位%)



谷口将紀『政治とマスメディア』117頁

